



国立大学法人

**長崎大学**  
NAGASAKI UNIVERSITY

## プレスリリース

平成23年7月4日

### 長崎大がスパコンの省エネランキングGreen500で 世界3位（国内1位）に認定

スパコンの省エネランキングであるGreen500リストの発表が6月30日（米国時間）にあり、米IBMが開発した「ブルージーンQ」が1ワット当たり毎秒20億9719万回の計算速度を記録し世界1位でした。

日本の最高順位は、長崎大学が開発したスーパーコンピュータ「DEGIMA(デジマ)」で、13億7588万回の計算速度を実現し世界第3位にランクされ、国内最高の省エネ性能を実現しました。

なお、長崎大の他に、東京工業大の「ツバメ2.0」が4位、理化学研究所・次世代スパコンの「京(けい)」が6位でした。

上位10位入りした国内スパコンと1ワットあたりの計算速度

1位	米IBMブルージーンQ	・・・	20億9719万回
3位	長崎大学デジマ	・・・	13億7588万回
4位	東京工業大学ツバメ2.0	・・・	9億5835万回
6位	次世代スパコン京	・・・	8億2456万回

(参考)

Green500は、最もエネルギー消費効率の良い世界のスーパーコンピュータを定期的にランク付けし、評価するプロジェクト。2005年4月に発足し、2007年1月よりバージニア工科大学によってランキング発表が開始された。主な指標は、消費電力当たりのLINPACK測定性能である「FLOPS/ワット」(FLOPS-per-Watt)を使用している。

【問い合わせ先】 先端計算研究センター 095-819-2705  
研究国際部研究企画課 095-819-2041